

技術資料

農林水産省登録
第23080号

芝用殺虫剤

ナイスイーグル® SC

®は石原産業㈱の登録商標

250ml×10本

チョウ目害虫からコガネムシ類幼虫まで!!
シバオサゾウムシにも適用拡大!!
長期残効でゆとり防除が可能!!



ISK 石原バイオサイエンス株式会社



ナイスイーグル[®]SC とは

有効成分 クロルフルアズロン..... 10.0%

ナイスイーグルSCは石原産業(株)が発明・開発した、昆虫のキチン生合成の阻害を特長とするIGR剤です。

ナイスイーグル[®]SC の作用機作

ナイスイーグルSCの有効成分クロルフルアズロンを処理された芝をチョウ目害虫の幼虫が摂食すると、対象害虫はキチン質を含む表皮形成が阻害されるため、脱皮・変態に異常をきたし、最終的には黒化・ミイラ状になって死亡します。また、コガネムシ類幼虫も本剤が処理された芝の根やサッチなどの有機物を摂食することで、チョウ目害虫と同様の作用により死に至ります。

**キチン生合成阻害に基づく
原表皮形成阻害**

チョウ目害虫の幼虫に経口処理、24時間後観察

クロルフルアズロン 10 μ g処理	無処理
	
真皮細胞 原表皮	真皮細胞 原表皮

石原産業(株) 中央研究所 (顕微鏡写真)

**ナイスイーグルSC処理による
害虫の死亡症状**

スジキリヨトウ	コガネムシ
	
無処理	
	
ナイスイーグルSC処理による黒化・ミイラ化	

ナイスイーグル[®]SC の特長

- 特長 1** 広いスペクトラム
- 特長 2** 長期残効性
- 特長 3** 芝にも環境にも優しいSC製剤

特長1 広いスペクトラム

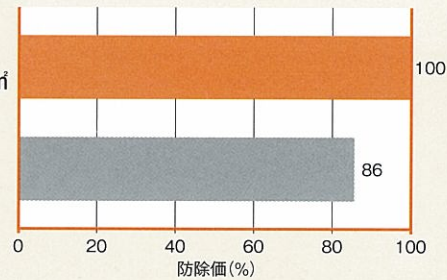
ナイスイーグルSCはシバツトガやタマナヤガ等のチョウ目からコガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシまで幅広い害虫に対して高い効果を示します。

委託試験成績概要

シバツトガ

ナイスイーグルSC
0.075mℓ/m² 0.3ℓ/m²

対照剤A
1000倍 0.3ℓ/m²



平成22年 日植防委託試験

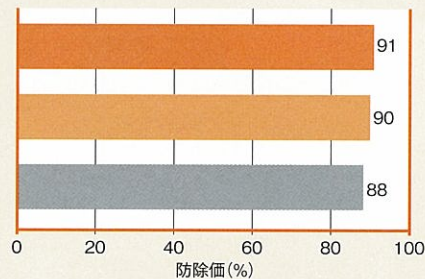
試験機関：東日本グリーン研究所
散布日：平成22年7月30日
調査日：平成22年8月10日(処理11日後)
芝種：コウライシバ

コガネムシ類幼虫 (チビサクラコガネ)

ナイスイーグルSC
0.25mℓ/m² 1.0ℓ/m²

ナイスイーグルSC
0.25mℓ/m² 0.5ℓ/m²

対照剤B
1600倍 0.2ℓ/m²



平成23年 日植防委託試験

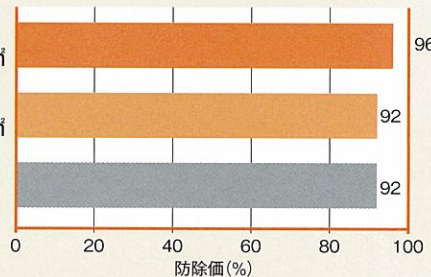
試験機関：静岡ゴルフ場協会
散布日：平成23年7月2日
調査日：平成23年8月2日(処理31日後)
芝種：ティフトン419とコウライシバの混植

スジキリヨトウ

ナイスイーグルSC
0.075mℓ/m² 0.3ℓ/m²

ナイスイーグルSC
0.075mℓ/m² 0.1ℓ/m²

対照剤A
1000倍 0.3ℓ/m²



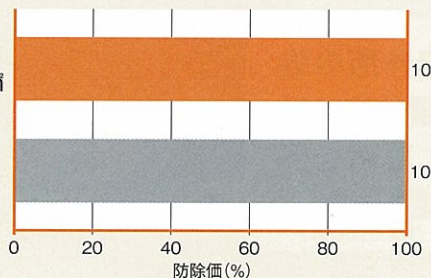
平成24年 日植防委託試験

試験機関：静岡ゴルフ場協会
散布日：平成24年8月16日
調査日：平成24年8月24日
芝種：ノシバ

タマナヤガ

ナイスイーグルSC
0.075mℓ/m² 0.1ℓ/m²

対照剤C
1000倍 0.25ℓ/m²



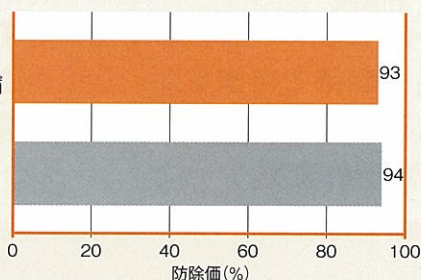
平成24年 日植防委託試験

試験機関：東日本グリーン研究所
散布日：平成24年6月18日
調査日：平成24年7月2日
芝種：ベントグラスとベンクロスの混植

シバオサゾウムシ

ナイスイーグルSC
0.075mℓ/m² 0.3ℓ/m²

対照剤D
2000倍 0.5ℓ/m²



平成23年 日植防委託試験

試験機関：新中国グリーン研究所
散布日：平成24年8月30日
調査日：平成24年9月24日
芝種：ノシバ

特長2 長期残効性

ナイスイーグルSCの成分は光、温度に対して比較的安定で残効性に優れることから、散布後長期にわたって残効が期待できます。

長期残効性 社内試験 (石原産業(株)中央研究所)

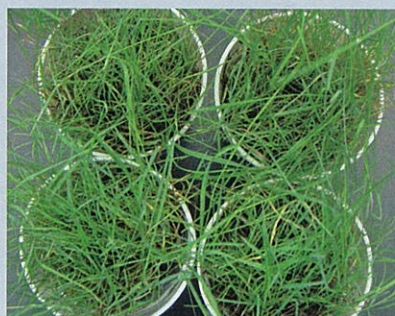
「ナイスイーグルSC散布31日後のスジキリヨトウ食害防止効果」

▶▶▶ 方法

所定薬量になるよう希釈調整した薬液(0.3ℓ/㎡相当量)を芝に散布し、31日後にスジキリヨトウの若・中齢幼虫(10頭/ポット)を放った。

▶▶▶ 結果

ナイスイーグルSC(0.075mℓ/㎡、0.3ℓ/㎡)は100%の殺虫効果を示し、また食害防止効果も高く、長期残効性に優れた。



ナイスイーグルSC
(0.075mℓ/㎡, 0.3ℓ/㎡, 4000倍)



無処理区



対照剤E
(0.03mℓ/㎡, 0.3ℓ/㎡, 10000倍)



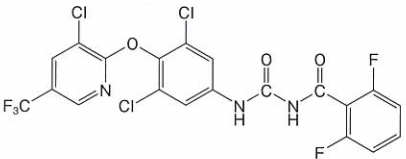
対照剤F
(0.075mℓ/㎡, 0.3ℓ/㎡, 4000倍)

特長3 芝にも環境にも優しいSC製剤

ナイスイーグルSCは天敵やミツバチ等の有用昆虫に対してほとんど影響がなく、また日本芝、西洋芝に対して4倍量でも薬害は認められず、環境にも芝にも優しい薬剤です。また、SC製剤で調製し易く、嫌な臭いもありません。

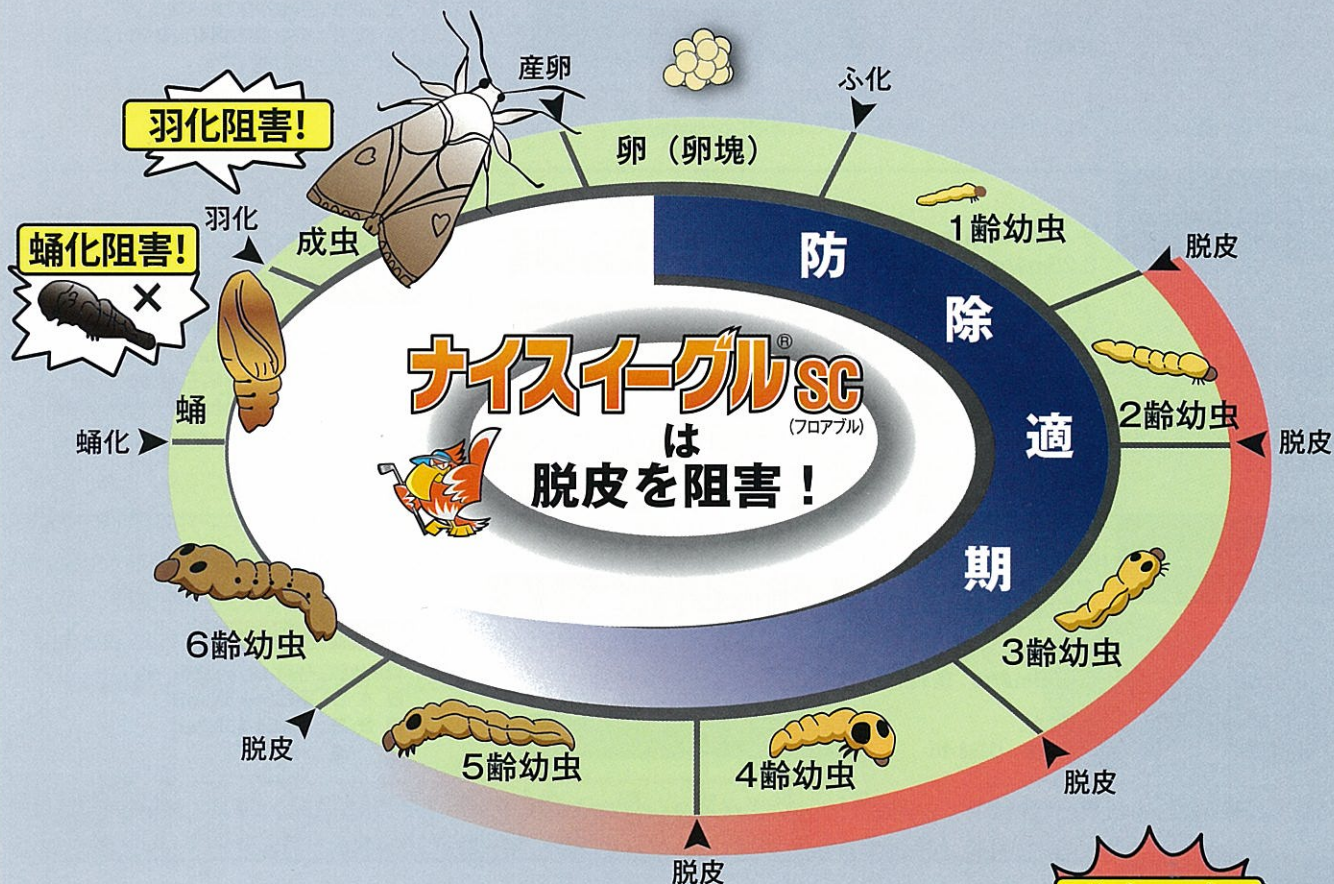
有効成分および物理的・化学的性状

※毒劇物に該当しないものを指している通称

一般名	クロルフルアズロン	人畜毒性 (製剤)	※ 普通物	急性経口毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>5000mg/kg
試験名	IKI-7899			急性経皮毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>2000mg/kg
化学名	1-[3,5-ジクロロ-4-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジ ルオキシ)フェニル]-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素	水生生物への影響 (製剤)	※ 普通物	急性吸入毒性	ラット ♂♀	LD ₅₀	>5.53mg/L
分子式	C ₂₀ H ₉ Cl ₃ F ₅ N ₃ O ₃			皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし	
構造式		水生生物への影響 (製剤)	※ 普通物	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし	
				皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし	
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体(製剤)	環境生物への影響 (原体)	※ 普通物		コイ	LC ₅₀	(96hr)>1000mg/L
融点(℃)	221.2~223.9℃(純品)				オオミジンコ	EC ₅₀	(48hr)0.0109mg/L
蒸気圧	約1.599×10 ⁻⁶ Pa(20℃)(純品)				藻類	ErC ₅₀	(0-72hr)>1000mg/L
水溶解度	0.012mg/L(20℃)(純品)				ミツバチ		30分、24、48、72時間後観察 影響なし
				ミミズ	LC ₅₀	>1000mg a.i./kg	
				土壌非標的生物		影響なし	

ナイスイーグル[®]SCの上手な使い方

害虫の産卵期に散布することで、ナイスイーグルSCの長い残効性により、孵化後の防除効果についても期待できます。



ナイスイーグルSCは食毒作用の強い殺虫剤です。コガネムシ類幼虫に対しても、若齢幼虫の時期に薬剤を摂食させることで、効果が安定します。



脱皮阻害!



ナイスイーグルSCは老齢幼虫に対する効果も期待できますが、**若齢幼虫期**になるべく早く処理することで、最も効果が現れます。



適用害虫と使用方法

※本剤およびクロルフルアズロンを含む農薬の年間の総使用回数

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	使用方法	総使用回数※
		薬量 (ml/m ²)	希釈水量 (ℓ/m ²)			
芝	シバツトガ タマナヤガ スジキリヨトウ	0.075	0.1~0.3	発生初期	散布	4回以内
	シバオサゾウムシ		0.3			
	コガネムシ類幼虫	0.25	0.5~1			

本内容は、平成25年10月23日付の登録内容に基づいています。

使用上の注意事項

- 散布液調製時には、使用直前に容器をよく振とうしてください。
- 本剤は植物体上での移行性がないため、均一に散布してください。
- 本剤は幼虫の脱皮を阻害し、やがて死亡させる性質をもつため、幼虫期になるべく早く散布してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬液が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では、使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。
散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
空容器等は水産動植物に影響を与えないよう、適切に処理してください。

ラベルを守って正しく使いましょう!
適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

ISK 石原産業株式会社

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-7154 FAX(06)6444-7156
中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西渋川2丁目3番1号 ☎(077)562-3574 FAX(077)561-2024

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号(後楽森ビル) ☎(03)5844-6320 FAX(03)3812-6548
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリア) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6813 FAX(022)264-4585
東京支店 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号(後楽森ビル) ☎(03)5844-6350 FAX(03)3812-6589
大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号(新石原ビル) ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

本印刷物は、平成25年10月時点での知見に基づいて作成しています。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ホームページアドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

 石原テレホン相談室 0120-1480-57

取り扱い